

平成24年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(地理学)

I 次の文章は明治時代の農民の生活を描いた小説の一部である。原文は縦書きであるが作問の都合上横書きで記してある。この文章を読んで、以下の問い（問1～3）に答えなさい。

問1 下線①に「以前のように天然の肥料を獲ることが今では出来なくなってしまった」とあるが、その理由について、文章中の内容を踏まえながら、あなたの意見を述べなさい。

問2 下線②の「隣の主人」と勘次との関係について、当時の社会的制度に言及しながら、あなたの意見を述べなさい。

問3 下線③の「利根川の工事」とはどのようなものか。あなたの意見を述べなさい。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文は削除した。

出典：長塚 節『土』新潮文庫版、1991

II 以下の英文の内容を日本語に要約した上で、「人間－環境関係」を考える際に重要だと思われる論点について、あなたの意見を述べなさい。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。引用箇所は以下のとおりである。

Mansfield, B.: Sustainability. Castree, N. et al., eds.: *A Companion to Environmental Geography*, Blackwell, 2009, pp.44-45

Ⅲ 次の語句について説明しなさい。

① 地政学

② ルーラル・ツーリズム

③ 挙家離村と出稼ぎ

④ 輪作

⑤ エルニーニョ現象